



絵本



『生きる』 谷川俊太郎／詩 岡本よしろう／絵

福音館書店 2017年（請求記号：E 14）

生きているこの一瞬を、立ち止まって感じられる詩とともに、  
小学生のきょうだいと家族が過ごすある夏の一日が描かれています。

『悲しみのゴリラ』 ジャッキー・アズーア・クレイマー／文 シンディ・ダービー／絵

落合恵子／訳 クレヨンハウス 2020年（請求記号：E 14）

ママを亡くして大きな悲しみを抱えた男の子のもとに、現れたゴリラ。  
ゴリラとの対話で、男の子が少しずつ変わっていく様子に心打たれます。

『キツネ -命はめぐる-』 イザベル・トーマス／文 ダニエル・イグヌス／絵

青山南／訳 化学同人 2021年（請求記号：E 14）

キツネの死を通して、死は新たな命につながっていくことを描いた物語。  
「死んだらどうなるの？」という疑問を、科学的にやさしく解説しています。

『けんちゃんのもみの木』 美谷島邦子／文 いせひでこ／絵

BL出版 2020年（請求記号：E 14）

事故で9歳の息子を亡くしたお母さんは、山にもみの木を植えました。  
もみの木は悲しみに寄りそって大きく成長し…。切なくも美しい絵本です。

『わたしはあかねこ』 サトシン／作 西村敏雄／絵

文溪堂 2011年（請求記号：E 14）

しろねこかあさんと、くろねことうさんから生まれたあかねこ。  
まわりと違うから認めてもらえない、あかねこがとった行動とは？

令和4年11月30日～12月20日

各課連携企画展示 平和・人権課

## いのちの大切さ

— 人権週間 —



12月4日～12月10日は

「人権週間」

1948年12月10日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、  
日本では毎年12月4日～10日を「人権週間」としています。

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して

この機会に、人権について改めて考えてみませんか？

多摩市立図書館

## 📖 一般向け 📖

※読みたい本が見当たらないときは、カウンターにお尋ねいただくか、予約をしてください。

### <様々な人権課題に関する本>

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
ネット私刑(リンチ)	安田浩一／著	扶桑社	2015	007.3
女性のいない民主主義	前田健太郎／著	岩波書店	2019	312.1
外国人労働者・移民・難民ってだれのこと？	内藤正典／著	集英社	2019	334.4
「差別はいけない」とみんないうけれど。	綿野恵太／著	平凡社	2019	361.8
マスコミ・セクハラ白書	メディアで働く女性ネットワーク／編著	文藝春秋	2020	367.21
LGBTってなんだろう？ -自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性- 改訂新版	薬師実芳／著 笹原千奈未／著 古堂達也／著 小川奈津己／著	合同出版	2019	367.9
ルポ若者ホームレス	飯島裕子／著 ビッグイシュー基金／著	筑摩書房	2011	368.2
記憶する体	伊藤亜紗／著	春秋社	2019	369.27
はじめまして、子どもの権利条約 改訂版	川名はつ子／監修 チャーリー・ノーマン／イラスト	東海教育研究所	2021	369.4
命の尊さについてぼくが思うこと	山田倫太郎／著	KADOKAWA	2016	378
ハンセン病家族たちの物語	黒坂愛衣／著	世織書房	2015	498.6

### <読みもの・大人向け絵本>

サード・キッチン	白尾悠／著	河出書房新社	2020	F1 39
いま伝えたい大切なこと -いのち・時・平和-	日野原重明／著	日本放送出版協会	2008	F1 71
じーさんとぴーぽっぽ	小亀たく／著	みらいパブリッシング	2022	726.6
かないくん	谷川俊太郎／作 松本大洋／絵	東京糸井重里事務所	2014	726.6

## 📖 ティーンズ向け 📖

いのちはなぜ大切なのか(ちくまプリマー新書 067)	小澤竹俊／著	筑摩書房	2007	Y 114.2
男女平等はどこまで進んだか -女性差別撤廃条約から考える-	山下泰子／監修 矢澤澄子／監修 国際女性の地位協会／編	岩波書店	2018	Y 367.2
死ぬんじゃねーぞ!! -いじめられている君はゼツタイ悪くない-	中川翔子／著	文藝春秋	2019	Y 371.42

## 📖 児童向け 📖

HIV/エイズとともに生きる子どもたちケニア (あなたのたいせつなものはなんですか?)	山本敏晴／写真・文	小学館	2009	30
みんなたいせつ -世界人権宣言の絵本-	東菜奈／構成・訳 渋谷敦志／写真	岩崎書店	2018	31
みんなえがおになれますように -ちがうってすてきなこと-	うい／作 早川世詩男／絵 松中権／監修	学研プラス	2022	36
女子サッカー選手です。そして、彼女がいます	下山田志帆／[著]	偕成社	2022	36